

スノーキャンドルについて

1 スノーキャンドルの作り方

(1) バケツを使った作り方

- ① バケツの底にアルミ缶を入れる（飲み口の面をバケツの底に向ける）
 - ・ピンやスプーンで穴を作ることもできる
- ② 雪をバケツいっぱいに入れ、押し固める
- ③ アルミ缶を抜き、中にろうそくを立て、火をともし



(2) 雪玉を使った作り方

- ① ろうそくを置く場所の周囲に雪玉を積み上げる
- ② ろうそくに火をともし

※さらさらした雪は、固まりにくいいため、雪に水を混ぜて固まりやすくする
※防水・防寒タイプのゴム手袋があると便利



(3) その他の作り方

- ① 作った雪像や雪だるまに穴を掘る
- ② (活動時間がない場合) 雪山に手やスコップで穴を掘る方法もある

2 アイスキャンドルの作り方

- (1) バケツに水を入れて、雪の上に1～2晩置く
- (2) 氷の厚さが5cmくらいになったら、バケツを静かにひっくり返す
- (3) 氷を割って、中の水を出す
- (4) 中央にろうそくを立て、火をともし

※水を凍らせて作るアイスキャンドルは、製作時間が
必要のため、2泊以上宿泊する団体向けの活動です



3 その他

- (1) 水を使用する場合は、事前にネイパル職員と打合せをする
水を汲む場所には、引率者を必ず配置する
- (2) バケツが割れてしまった場合には、事務所に連絡する
- (3) 翌朝、作成したキャンドルを壊し、活動場所の現状復帰(整地)をする